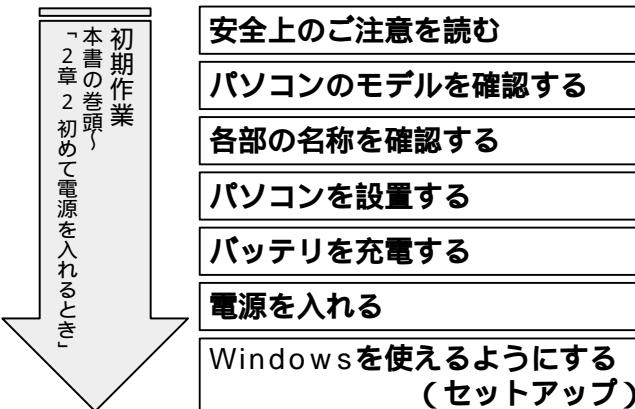




マニュアルの使い方

1 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書（本書）-

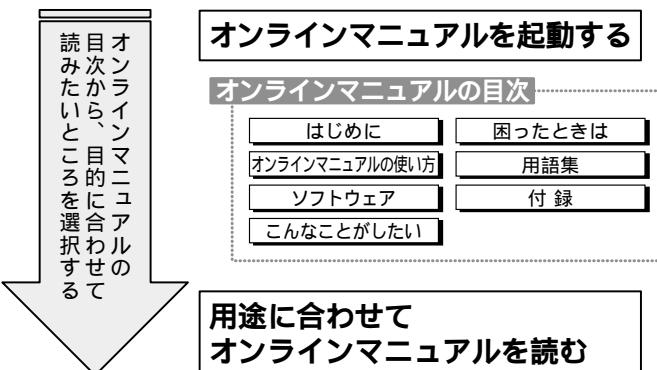
☞ 目次は 6 ページ



Windows のセットアップが終了後、Windows の使い方については、各システムに付属の『ファーストステップガイド』または『Windows のヘルプ』をご覧ください。

2 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル -

オンラインマニュアルとは、画面上で確認できる電子マニュアルです。本書「2章 4 オンラインマニュアルの起動」に従ってオンラインマニュアルを起動してください。オンラインマニュアルの目次が表示されます。



本書の上記以外の内容は、必要に応じてお読みください。また、同梱されているほかの説明書や、周辺機器に添付されている説明書も必要に応じてお読みください。

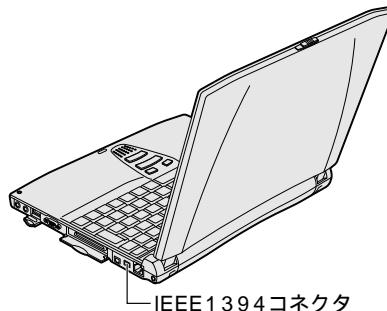


パソコンのモデルを確認する

本製品は、モデルによって機能が異なる場合があります。
はじめに、ご購入のモデルをご確認ください。

STEP 1

IEEE1394コネクタがあるか、お手元のパソコンの右側面をご覧ください。



IEEE1394コネクタ

IEEE1394
コネクタが

ない

LAN内蔵モデル

STEP 2に進んでください。

ある → モデム内蔵モデル
システム (OS) は、Windows 98です。

STEP 2

LAN内蔵モデルには、システム (OS) によって次の3つのモデルがあります。
システムによって、セットアップ方法や省電力設定が異なりますので、
本書では、お使いのモデルに合ったページをご覧ください。

Windows 98 ( 98)

Windows 95 ( 95)

Windows 2000 / NT ( 2000 /  NT)



サウンド/映像ソフトの使い方(モデル内蔵モデル)

本製品にあらかじめインストールされたソフトを使って、次のようなことができます。

ソフトの使い方については、オンラインマニュアルをご覧ください。

☞「2章 4 オンラインマニュアルの起動」

1 サウンドを楽しむ

CDなどから音楽ファイルを取り込む



東芝LIVE MEDIA PLAYER

MP3
MIDI
WAVE

ファイルを再生する

東芝LIVE MEDIA VOICE

音声を録音する
音声を再生する

顔付きMusicDance

音楽に合わせてキャラクタがダンスする



- ・音楽ファイルの再生中は、ACアダプタの取りはずしを行わないでください。パソコン本体の電源が切れる場合があります。

デジタルビデオカメラで動画を撮影

↓ IEEE1394で接続

Ulead VideoStudio

録画テープより動画を取り込む
動画を編集する
録画テープに編集した動画を保存する
動画をファイルに保存する

USBカメラを接続

東芝LIVE MEDIA VIDEO

動画を撮影する
動画を保存する
動画を再生する
動画をメールに添付する

東芝LIVE MEDIA EDIT

動画ファイルを編集する

↓ MPEG-4 Video Encoder V3
for LIVE MEDIA形式で圧縮する

Mediapresso

動画をシーンごとに表示する

デジタルカメラで静止画を撮影



パソコンに取り込む



Photo Express

- 静止画を撮影する(1)
- 静止画を編集する
- 静止画を保存する
- アルバムを作り静止画を管理する
- ポストカードやカレンダーを作る

東芝LIVE MEDIA STILL

- 静止画を撮影する(1)
- 静止画を保存する
- 静止画を再生する
- 静止画をメールに添付する



1 USB カメラを接続して、静止画を撮影することができます。



目次

マニュアルの使い方	1
1 初めて電源を入れるとき - 取扱説明書（本書） -	1
2 初期作業が終わったら - オンラインマニュアル -	1
パソコンのモデルを確認する	2
サウンド / 映像ソフトの使い方（モデル内蔵モデル）.....	3
1 サウンドを楽しむ	3
2 映像を楽しむ	4
目次	6
はじめに	10
本書の読み方	17
日常の取り扱い.....	20

1 章 電源を入れる前に.....	25
1 各部の名称	26
2 周辺機器の接続場所	29
3 パソコンの準備	31
1 パソコンを快適に使うには	31
2 電源に接続する	33
3 ディスプレイを開ける	34
4 電源に関する表示	35
4 バッテリの充電	36
1 バッテリ駆動で使うために	36
2 バッテリの充電	36
3 バッテリに関する表示	38
5 アキュポイント とコントロールボタンの使い方	39
6 キーボード	40
7 サウンド	49
1 スピーカの音量を調整する	49
2 システムスピーカについて	50

2章 電源を入れて切るまで 53

1	電源を入れる	54
2	初めて電源を入れるとき	57
1	Windows 98 のセットアップ	58
2	Windows 95 のセットアップ	66
3	Windows 2000 のセットアップ	73
4	Windows NT のセットアップ	82
5	ユーザ登録をする	90
3	電源を切る	92
1	Windows 98 の場合	94
2	Windows 95 の場合	99
3	Windows 2000 の場合	102
4	Windows NT の場合	106
4	オンラインマニュアルの起動	108

1
章

2
章

3
章

4
章

5
章

6
章

7
章

3章 パソコンを持ち歩く 111

1	バッテリを使う	112
1	バッテリ充電量を確認する	112
2	時計用バッテリ	115
3	バッテリの使用時間	115
4	バッテリパックを交換する	117
2	バッテリを節約する	120

付
録

4章 ハードウェアについて 121

1	作業の前に	122
2	機能を拡張する	123
3	PC カードを使う	128
4	フロッピーディスクを使う	134
1	フロッピーディスク	134
2	フロッピーディスクドライブ	136

5	モデムを電話回線へ接続する (モデム内蔵モデル) ...	138
6	LAN に接続する (LAN 内蔵モデル).....	140
1	適正なケーブルの確認	140
2	LAN ケーブルの接続	140
3	Windows 98 / 95 のネットワーク設定	141
4	Windows 2000 のネットワーク設定	145
5	Windows NT のネットワーク設定	147
7	USB 機器を接続する	151
8	IEEE1394 機器を接続する (モデム内蔵モデル) ...	152
9	メモリを増設する	154
10	大容量バッテリを使う	158
1	大容量バッテリパックの取り付け / 取りはずし	159
2	パソコン本体への取り付け / 取りはずし	160
5 章	便利な機能	163
1	消費電力を節約する	164
1	省電力ユーティリティ (Windows 98)	164
2	省電力ユーティリティ (Windows 95)	170
3	省電力ユーティリティ (Windows 2000)	175
4	省電力ユーティリティ (Windows NT)	181
2	簡単インターネット (モデム内蔵モデル).....	185
3	Toshiba Hardware Setup/HW セットアップ ...	187
1	Toshiba Hardware Setup (Windows 98 / 95)....	187
2	HW セットアップ (Windows 2000 / NT).....	187
6 章	カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方	189
1	カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは	190
1	カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 / 95 モデル)....	190
2	リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT).....	191
2	標準システムを復元する	192
1	準備	192
2	操作手順	192

3	最小構成でシステムを復元する	
	(Windows 98 / 95 モデル)	196
1	準備	196
2	操作手順	197
4	アプリケーションを再インストールする	
	(Windows 98 / 95 モデル)	199
1	操作手順	199
7 章 困ったときは		201
1	困ったときは	202
1	Q&A を見る前に	202
2	Q&A 集	203
付 錄		259
1	製品仕様	260
1	外形寸法図	260
2	メモリマップ	261
3	I/O ポートマップ	262
4	DMA 使用リソース	263
5	IRQ 使用リソース	263
2	各インターフェースの仕様	264
1	RGB インタフェース	264
2	モデムインターフェース (モデム内蔵モデル)	265
3	LAN インタフェース (LAN 内蔵モデル)	266
4	USB インタフェース	267
5	IEEE1394 インタフェース (モデム内蔵モデル)	267
さくいん		268



はじめに

ダイナブック エスエス

このたびは、DynaBook SS DS50C / 3430 シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は小型・軽量で Windows が動作するノートパソコンです。

本書は本製品の基本的な取り扱い方をできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

また本製品には、本書のほかに、より詳細な説明をしたオンラインマニュアルを用意しています。

☞ オンラインマニュアルについて ⇨ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」
また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。

☞ リリース情報 ⇨ 「日常の取り扱い リリース情報について」

● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

モデム内蔵モデル

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

LAN 内蔵モデル

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

● 国際エネルギー・スタープログラムについて

当社は国際エネルギー・スタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー・スタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定に関しては、「5章 便利な機能 1 消費電力を節約する」を参照してください。

● モデム使用時の注意事項

本製品には、モデルによってはモデムが内蔵されているものがあります。内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

使用できない地域

内蔵モデムは、次の国で使用できます。

アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル

その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承願います。

自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。



- ・雷雲が近付いてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる国にあわせてモデムの国設定が必要です。

☞ モデムの国設定

⇒ 《オンラインマニュアル-内蔵モデム用国選択ユーティリティ》

IEEE1394 機器のご使用について

IEEE1394 機器を使用する場合、次の注意事項を必ず守ってお取り扱いください。

IEEE1394 機器を使用しデータ転送を行う場合、必ずデータ（データファイルや、ビデオカメラで撮影したテープ）のバックアップをお取りください。特に動画データ転送時は、パソコンの処理に負荷がかかり、状態によってはコマ落ちが発生する場合があります。また、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

静電気が発生しやすい場所や電気的ノイズが大きい場所での使用時にはご注意ください。外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障、静電気や電気的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。

ビデオカメラから取り込んだ画像データ、音声データは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

デジタルビデオカメラ等を使用し、IEEE1394 データ通信を行なっている最中に他の IEEE1394 機器の取り付け / 取りはずしを行うと、データがコマ落ちする場合があります。

IEEE1394 機器の取り付け / 取りはずしはデータ通信を行なっていないときまたはパソコン本体の電源を入れる前に行なってください。

モデム内蔵モデル

FCC information

Product name : DynaBook SS PORTÉGÉ 3430

Model number : PP343J

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or port, microphone jack, and headphone port. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address: Toshiba America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone: (949) 583-3000

モデル内蔵モデル

TOSHIBA



EU Declaration of Conformity
EU Übereinstimmugserklärung
Déclaration de conformité UE
Declaración de conformidad de la UE
Dichiarazione di conformità UE
EU Förskrifter om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PP343J conforms to the following Standards:
Toshiba erklärt, daß das Produkt: PP343J folgenden Normen entspricht:
Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PP343J est conforme aux normes suivantes:
Toshiba declaran que el producto: PP343J cumple los siguientes estándares:
Toshiba dichiara, che il prodotto: PP343J è conforme alle seguenti norme:
Toshiba intygar att produkten: PP343J överensstämmer med följande normer:

Supplementary Information:	“The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC.”
Weitere Informationen:	“Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”
Informations complémentaires:	“Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”
Información complementaria:	“El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”
Ulteriori informazioni:	“Il prodotto è conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”
Ytterligare information:	“Produkten uppfyller kraven enligt lägspänningssdirektiver 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

LAN 内蔵モデル

FCC notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.

Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

WARNING: Changes or modification made to this equipment, not expressly approved by Toshiba, or parties authorized by Toshiba, could void the user's authority to operate the equipment.



Trademarks

- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス社の登録商標または商標です。
- Intel は Intel Corporation の登録商標です。
- PS/2 は、IBM Corporation の登録商標です。
- Sound Blaster は米国 Creative Technology 社の商標です。
- CardWizard は、米国 SystemSoft Corporation の商標です。
- K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。



お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- 本製品にブレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。

パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。



本書の読み方



記号の意味



警告

- ・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。



注意

- ・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

- ・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

- ・知っておくと便利なことを説明しています。

本書は、Windows 98、Windows 95、Windows 2000 / NT モデルに共通の取扱説明書です。

それぞれの固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。ご購入の製品に応じた部分をお読みください。

98 Windows 98 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

95 Windows 95 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

2000 Windows 2000 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

NT Windows NT の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

☞ この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

『この取扱説明書の参照先』

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照》

(注) 補足説明をしています。



画面の表し方

画面の全部、または一部を表します。

【例】

Total = x x x x KB

このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。



入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけをで囲んで書いています。

[Y] キーを押す



を押してください。

[1] キーを押す



を押してください。

[Space] キーを押す



(スペースキー) を押してください。



操作の表し方

操作や作業は、次のように示します。

【例】

操作が 1 つで済む場合は、次のように示します。

[Y] キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

[Fn] + **[Ins]** キーを押す

この場合は、**[Fn]** キーを押したまま **[Ins]** キーを押します。



用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム

特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 98

Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system
日本語版を示します。

Windows 95

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版を示します。

Windows NT

Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 operating system 日本
語版を示します。

Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本
語版を示します。

MS-IME

Microsoft® IME 2000、Microsoft® IME 98 または MS-IME97 を示
します。

モデム内蔵モデル

モデムが内蔵されているモデルを示します。

LAN 内蔵モデル

LAN が内蔵されているモデルを示します。

その他不明な用語については、《オンラインマニュアル 用語集》を参照して
ください。

☞ オンラインマニュアルについて ⇨ 「2 章 4 オンラインマニュアルの起動」



日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。



パソコン本体



注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

ディスプレイは静かに閉じてください。

使用できる環境は次のとおりです。

温度 5 ~ 35 、湿度 20 ~ 80%

次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。



コンパクトディスク (CD)

CD の内容は故障の原因にかかわらず保証いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

CD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD を読み込むことができなくなります。

CD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD の上に重いものを置かないでください。

CD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。

CD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。

CD の表面に文字などを書かないでください。

CD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。



キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、固くしぼって拭きます。

キーのすきまに入ったゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなどの飲み物をこぼしたときは、電源を入れる前にお買い求めの販売店、または保守サービスに連絡し、交換を依頼してください（有償）。



液晶ディスプレイ



画面の手入れ

画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。



サイドライト用 FL 管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。



表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。



アキュポイント（ポインティング装置）

マウスポインタを動かすポインティング装置をアキュポイントといいます。アキュポイントは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

また、次の場合、画面上のマウスポインタが移動することがあります。この場合は、マウスポインタが動かなくなるのを待ってから、アキュポイントを使用してください。

- ・電源を入れたとき

- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離したとき



フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にフロッピーディスクドライブをクリーニングしてください。



モデム

本製品には、モデルによってはモデムが内蔵されているものがあります。内蔵モデムは、ITU-T V.90 または K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6 Kbps で接続されます。

モデムの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。



持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

電源は必ず切ってください。

電源を切った後でも、Disk  LED が点灯中は動かさないでください。

急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。

パソコン本体に周辺機器を接続している場合は、取りはずしてください。落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。

故障の原因になります。



リリース情報について

本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。ご覧になるには [スタート] メニュー - [はじめに] - [リリース情報] を選択します。



仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

AC アダプタは 100V ~ 240V まで使用可能です。



消耗品について

次の部品は消耗品です。

バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。

時計用バッテリ（交換は有償です）

アキュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）

消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

1

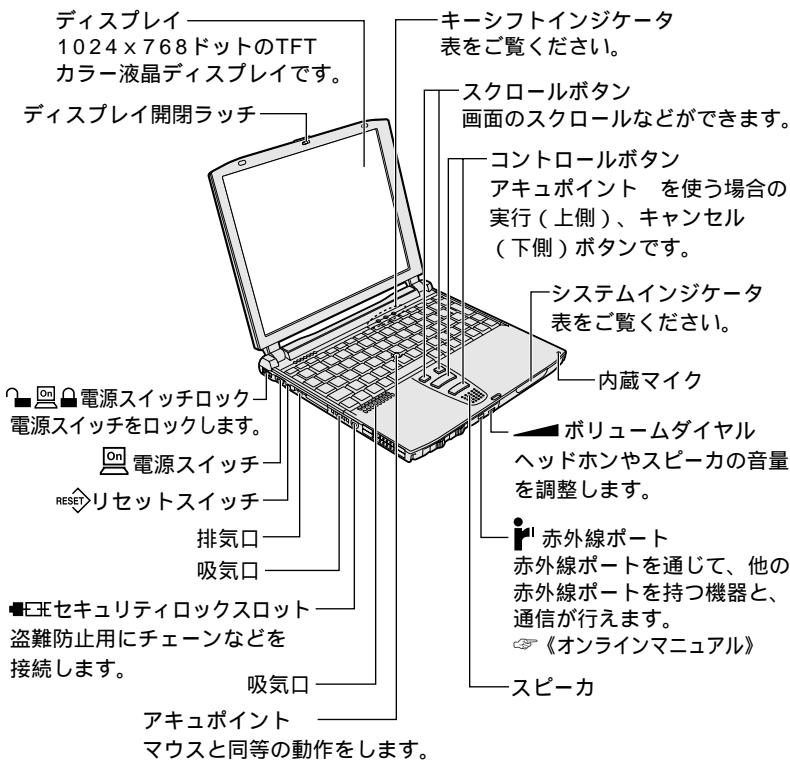
電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。

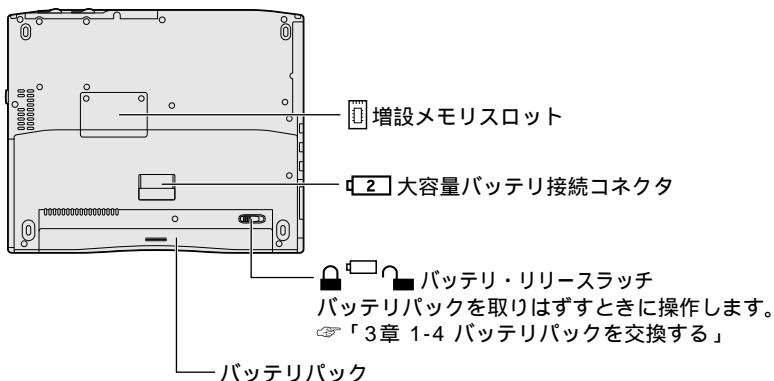
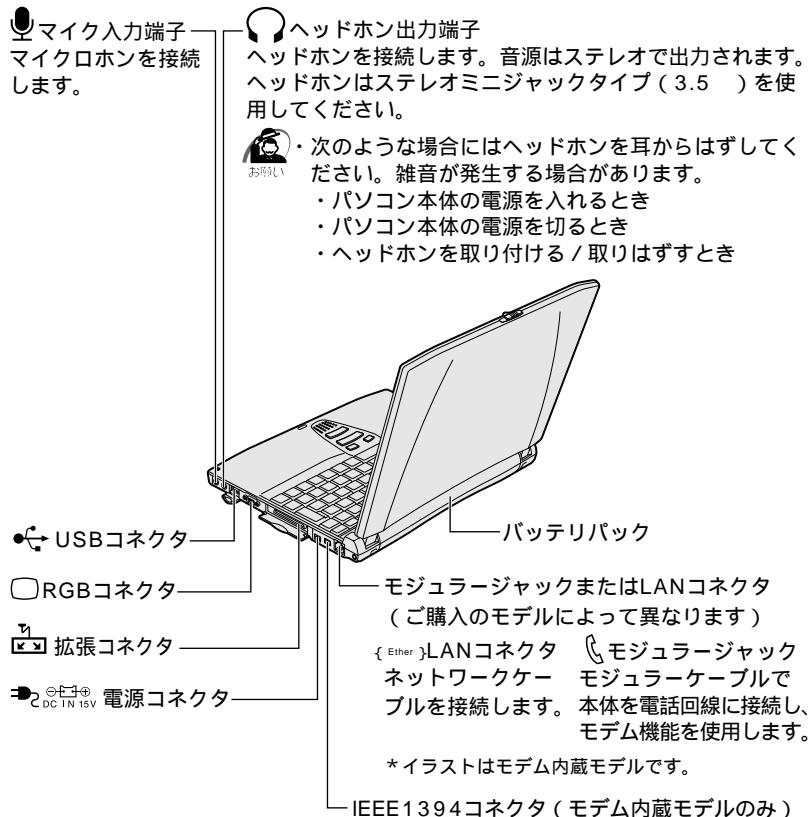
1	各部の名称	26
2	周辺機器の接続場所	29
3	パソコンの準備	31
4	バッテリの充電	36
5	アキュポイント と コントロールボタンの使い方	39
6	キーボード	40
7	サウンド	49

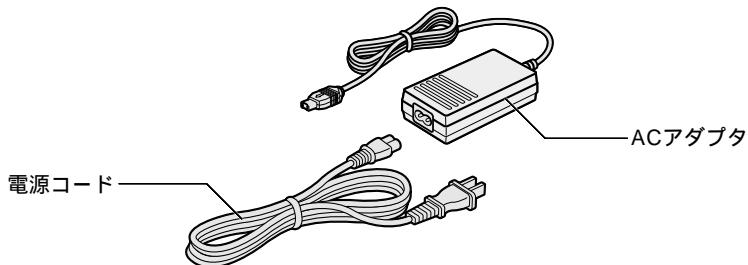
ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。

各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。

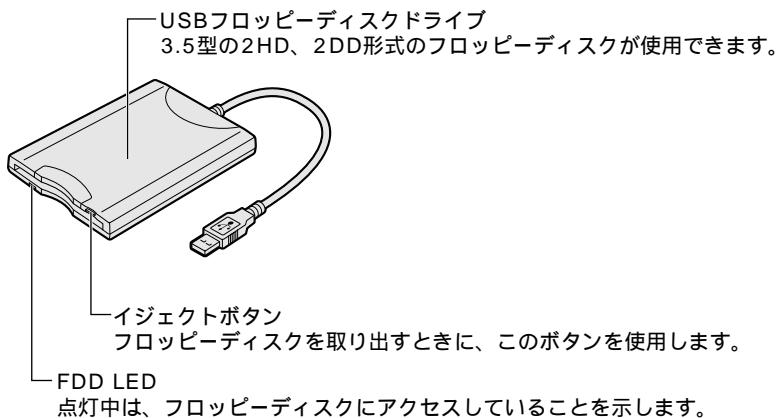


システムインジケータ		DC IN LED	電源コードの接続 ☞「本章 3-4 電源に関する表示」
		Power LED	電源の状態 ☞「本章 3-4 電源に関する表示」
		Main Battery LED	バッテリの状態 ☞「本章 4-3 バッテリに関する表示」
		大容量バッテリ LED	大容量バッテリ（別売り）の状態 ☞「本章 4-3 バッテリに関する表示」
		Disk LED	ハードディスク装置にアクセスしている
キイシンフジケイタ		Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」 ☞「本章 6-入力に関する制御キー」
		Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」 ☞「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」
		Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」 ☞「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」

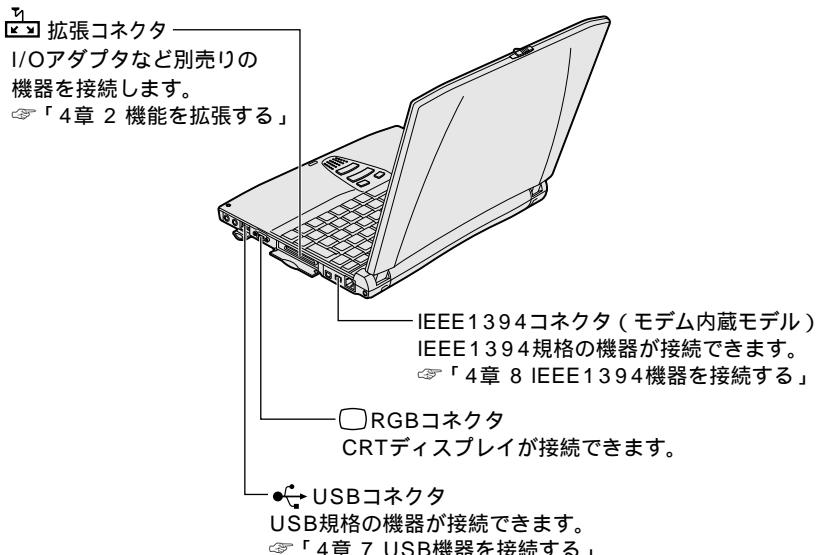
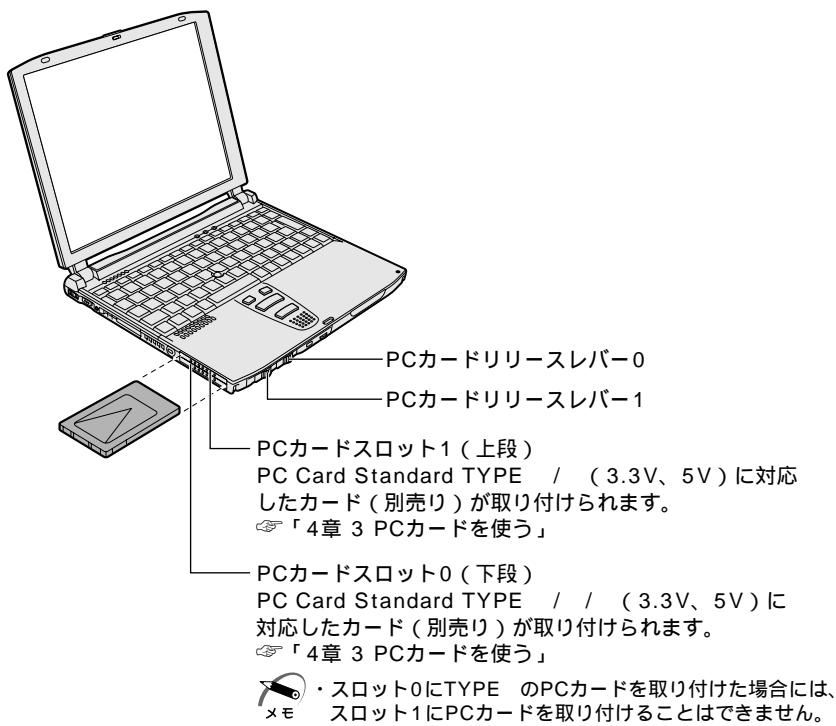


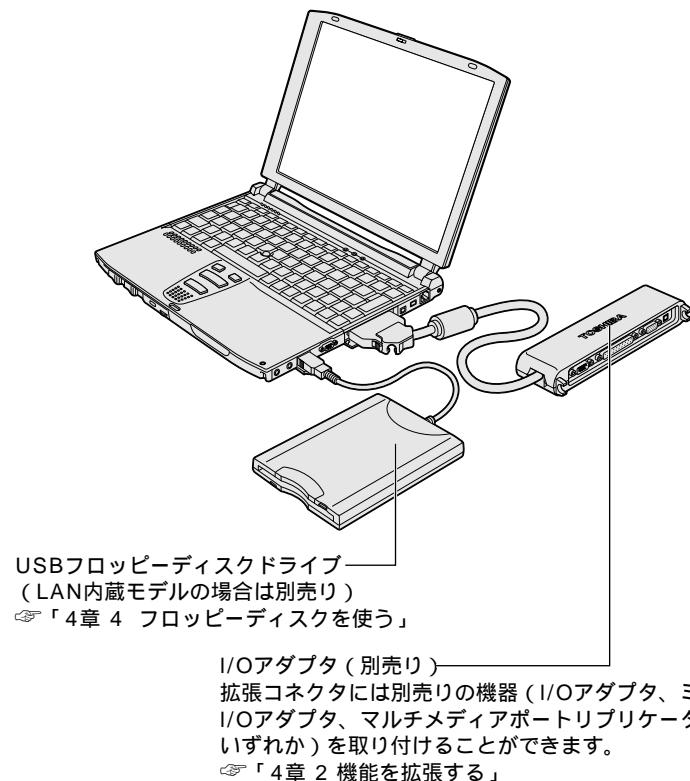
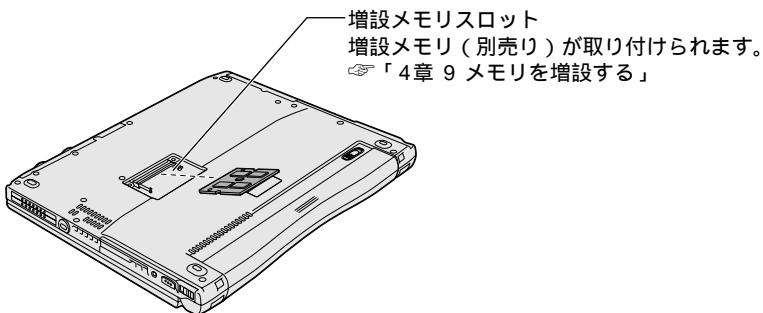


次のものは、モデム内蔵モデルのみ同梱されています。



2 周辺機器の接続場所





3 パソコンの準備

ここでは、電源を入れる前に必要な準備について説明します。

1 パソコンを快適に使うには

本製品を設置、使用するには次のことを守ってください。

● 設置する環境



注意

- ・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。
ショート、発煙のおそれがあります。
- ・ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、たおれたりしてケガをするおそれがあります。



お願い

- ・ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かないでください。
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。

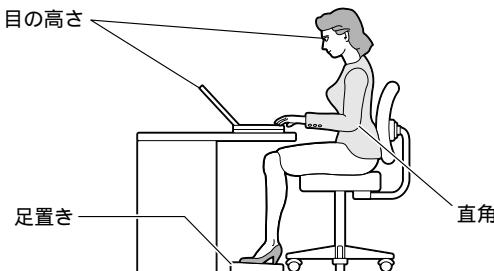
温度は5～35、湿度は20～80%の環境にする
急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
暖房器具などの熱いものの近くには置かない
腐食性の薬品のそばに置かない

● 使用時の環境

適当な高さと距離をおき、平らな場所に置く
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように設置してください。
パソコン本体に向かって正面に座り、マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
ディスプレイの角度を調節しやすくするために、パソコン本体の背面をある程度空けておく
明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節してください。
換気のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する

● 使用時の姿勢

キーボードが肘よりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
おしりよりも膝が少し高くなるように座る
背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
膝と肘はほぼ 90 度になるように、まっすぐ座る
前に屈んだり、背もたれによりかかったりしないで使用してください。



● 照明

日光と照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコンを置かない
なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が
画面や眼に直接反射しない位置に置いてください。

● 使用方法

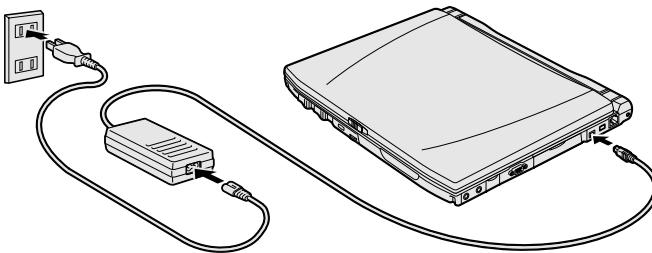
リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子を正しい位置に
置いてください。
適度に姿勢を変える
時々立ち上がってストレッチする
1 日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
長時間画面を見続けないようにする
15 分ごとに 30 秒ぐらいの割合で遠くを見てください。
一度の休憩は短くても良いので、なるべく回数を多くとる
30 分に 2 ~ 3 分とるのが理想的です。

2 電源に接続する

接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリパックを必ず取り付けておいてください。

接続は次の図の順に行います。のとき、ACアダプタのプラグの矢印(⇨)を下にして接続してください。はずすときは逆の順で行います。



取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



警告

- ・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。
- 本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、電圧や+ - の極性が異なっていることがあるため、発煙、火災のおそれがあります。
- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



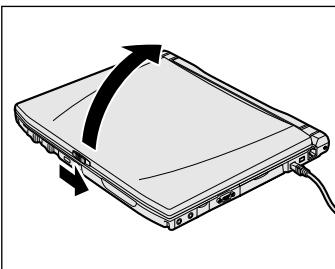
- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントに接続しないでください。

ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリが温かくなることがあります、故障ではありません。

③ ディスプレイを開ける

1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし、ディスプレイを静かに起こす

このとき、両手を使ってゆっくり起こしてください。



注意

- ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
ディスプレイを強く閉じると、衝撃しゅうげきでハードディスク装置などが故障するおそれがあります。
- ・ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

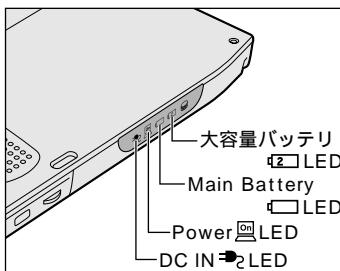
4 電源に関する表示

電源に接続すると、DC IN  LED、Main Battery  LED が点灯します。

大容量バッテリ（別売り）を取り付けている場合は、大容量バッテリ  LED も点灯します。

☞ Main Battery  LED、大容量バッテリ  LED について
△「本章 4-3 バッテリに関する表示」

電源を入れると Power  LED が点灯します。



それぞれのインジケータの色は次のことを表しています。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑	ACアダプタから電力が供給されている
	オレンジ点滅	異常警告 バッテリ、ACアダプタまたはパソコン本体に異常
	消灯	ACアダプタから電力が供給されていない
Power  LED	緑	電源ON
	オレンジの点滅 (ゆっくり)	  : スタンバイ中   : サスペンド中
	消灯	電源OFF

4 バッテリの充電

1 バッテリ駆動で使うために

パソコン本体には、バッテリパックが内蔵されています。

バッテリを充電して、バッテリ駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリ駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリパックを取り付けます。

充電を完了（フル充電）しなくてもバッテリ駆動で使えますが、使用できる時間は短くなります。

2 バッテリの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

充電方法

1 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN  LED が緑色に点灯して Main Battery  LED、大容量バッテリ  LED（大容量バッテリを取り付けている場合）がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体にACアダプタを接続すると、電源のON/OFFに関わらず常時充電されます。

2 Main Battery LED が緑色になるまで通電する

バッテリが充電中は Main Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

 Main Battery  LED について ⇨「本節 3 バッテリに関する表示」



- 標準バッテリパックと大容量バッテリの両方を接続しているときは、標準バッテリパックから充電が開始されます。

充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

取り付けているバッテリ	電源ON	電源OFF
標準バッテリパック	約 2 ~ 4 時間	約 2 時間
標準バッテリパックと大容量バッテリの両方	約 6 ~ 16 時間	約 6 時間

(注) 周囲の温度が低いときや周辺機器を取り付けているときなど、パソコンの使用状況によってはこの時間よりも長くかかることがあります。



警告

- ・バッテリパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。



注意

- ・バッテリパックの充電温度範囲内(10 ~ 30)で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

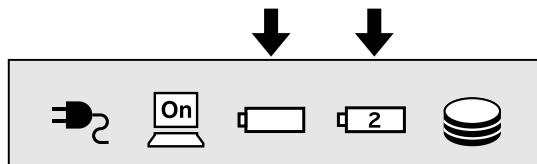
3 バッテリに関する表示

● Main Battery LED で確認する

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、バッテリの状態を示すアイコンです。

なお、大容量バッテリは別売りです。

☞ 大容量バッテリについて ⇨ 「4章 10 大容量バッテリを使う」

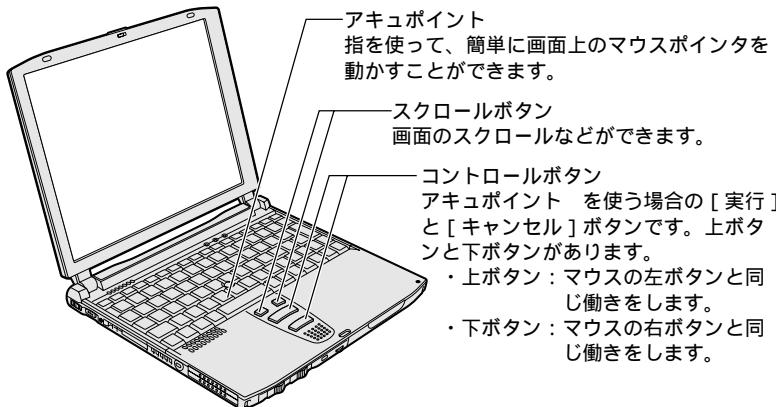


それぞれのインジケータの色は次の状態を示しています。

	LEDの状態		パソコン本体の状態
Main Battery  LED	緑		充電完了 (ACアダプタ接続時)
	オレンジ	点灯	充電中
	点滅	充電必要	
	消灯		バッテリパックが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない バッテリパックに異常
大容量バッテリ  LED (大容量バッテリ接続時)	緑		充電完了 (ACアダプタ接続時)
	オレンジ	点灯	充電中
	点滅	充電必要	
	消灯		大容量バッテリが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない 大容量バッテリに異常 充電していない

☞ バッテリの詳細について ⇨ 「3章 パソコンを持ち歩く」

本製品には、マウスと同じ働きをするアキュポイント と 2 つのコントロールボタンとスクロールボタンが装備されています。



● 基本操作

キーボード中央の、アキュポイント に指を置きます。アキュポイント を押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

クリック	アキュポイント でマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを1回押します。
ダブルクリック	アキュポイント でマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを、すばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	上ボタンまたは下ボタンを押したまま、アキュポイント でマウスポインタを移動します（ドラッグ）。 ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。 ボタンを押すと、画面がスクロールします。

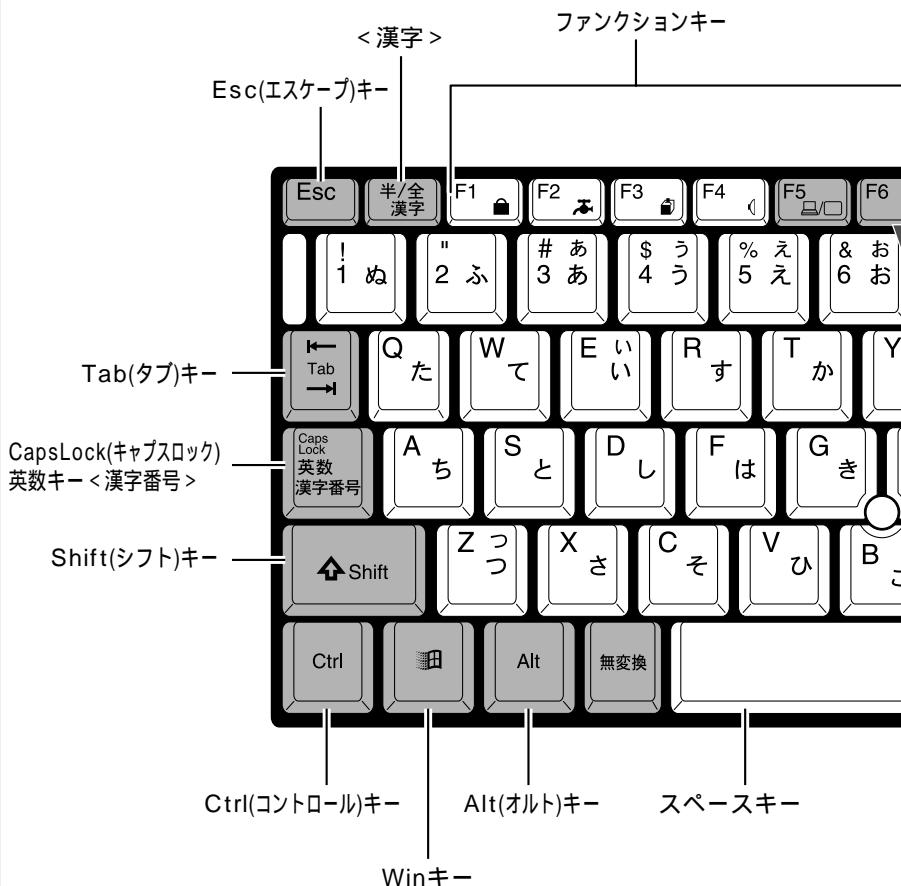


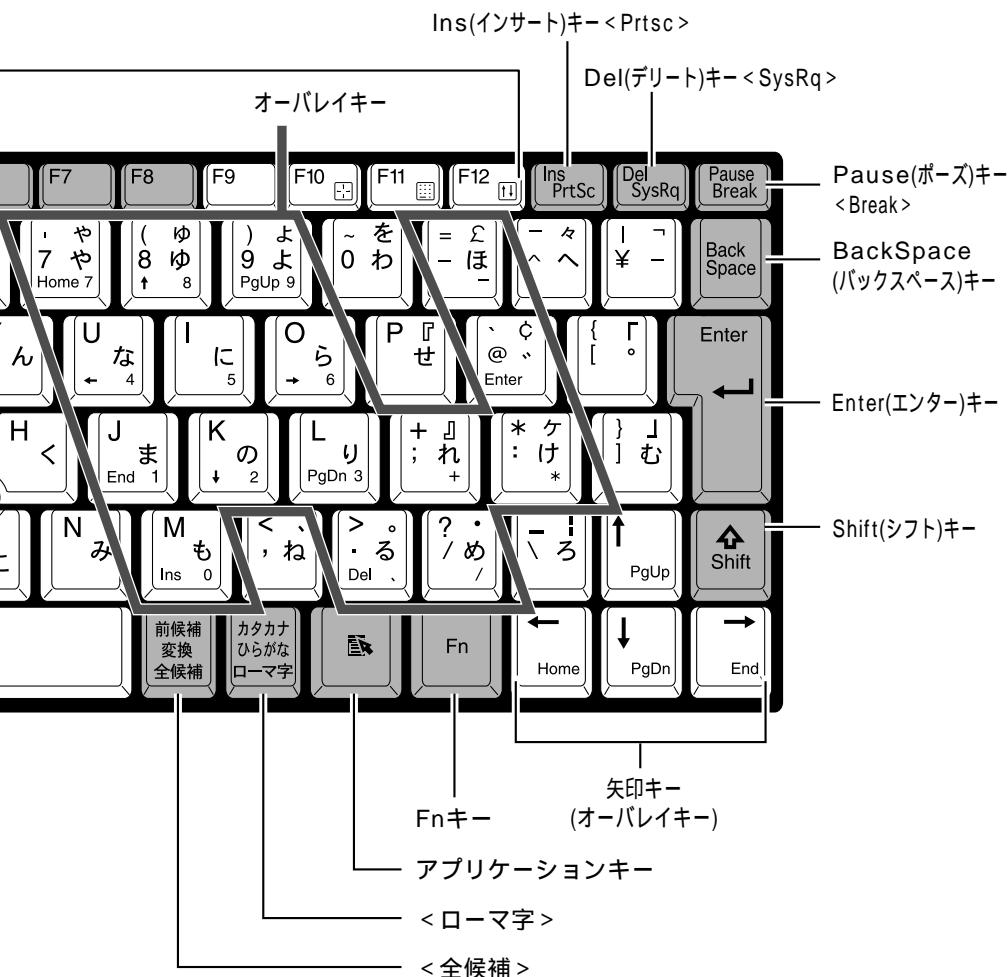
・次の場合、アキュポイント を操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。

- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離したとき

この場合は、10 秒以上待ってから、アキュポイント を使用してください。

キーボードの使い方はソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。







文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを「文字キー」と呼びます。

文字キーには2~6種類の文字・記号が印刷されていますが、どの文字・記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。

文字キーに印刷された文字・記号を入力する場合、どのように操作したらいいか、次の文字キーを例に説明します。



入力したい文字・記号	入力操作	内容
左上の文字・記号	[Shift]キーを押しながら押す	記号やアルファベットの大文字（この場合は「 ’」）が入力できます。 ☞「本節-主なキーの呼び方と役割」
右上の文字・記号	カナロック状態で[Shift]キーを押しながら押す	記号やカタカナの促音、拗音（この場合は「 ャ」）が入力できます。 ☞「本節-入力に関する制御キー」
左中の文字・記号	そのまま押す	数字やアルファベットの小文字（この場合は「 7」）が入力できます。
右中の文字・記号	カナロック状態で押す	カタカナや記号（この場合は「 ャ」）が入力できます。 ☞「本節-入力に関する制御キー」
左下の文字・記号	アロー状態のときに押す または [Fn] + [Shift]キーを押しながら押す	カーソル制御キー（この場合は[Home]キー）として使えます。 ☞「本節-[Fn]キーを使った特殊機能キー」
右下の文字・記号	数字ロック状態のときに押す または [Fn]キーを押しながら押す	テンキー（この場合は「 7」）として使えます。 ☞「本節-[Fn]キーを使った特殊機能キー」



- ・（チルダ）を入力する場合は、[Shift]キー + [~]キーを入力してください。
[Shift]キー + [~]キーを押しても入力できません。
- ・\（バックスラッシュ）を入力すると、「¥」を表示されます。
- ・キーボードに印刷されている「£」「¢」「¤」などの文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。



主なキーの呼び方と役割

キー	内容
[Esc] (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
[Shift] (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字の選択などをします。
[Alt] (オルト)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
[Ctrl] (コントロール)	
[Win] (WIN)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
[Space] (スペース)	空白文字を入力するときに使います。
[Alt] (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
[Fn] (エフエヌ)	オーバレイキーを使用するときに使用します。
[Ins] (インサート)	文字の入力モードを挿入 / 上書きに切り替えるときに使います。
[Del] (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
[← → ↑ ↓] (矢印)	カーソル移動などに使います。
[Enter] (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
[F1] ~ [F12] (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。



入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
98 / 95 [Ctrl] + [CapsLock 英数]	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右中に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
2000 / NT [Ctrl] + [Shift] + [カタカナ / ひらがな]	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。
[Shift] + [CapsLock 英数]	

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。

ロック状態の優先度は、カナロック状態 > 大文字ロック状態です。

Fn キーを使った特殊機能キー

Fn + F1 《インスタントセキュリティ機能》	キーボードをロックし、画面を消します。 ロックを解除するには、パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。 パスワードを設定していない場合は[Enter]キーまたは[F1]キーを押します。
Fn + F2 《省電力モードの設定》	98 2000 「省電力ユーティリティ」の省電力モードを切り替えます。 95 NT 省電力モードを切り替えます。 →フルパワー ハイパワー ミディアムパワー ローパワー ユーザ設定
Fn + F3 《電源 ON / OFF 時に使用する機能の選択》	98 2000 シャットダウン、スタンバイなどの電源を切る状態を切り替えます。 Windows 98の場合は、[Fn]キーを離すと選択した状態で電源が切れます。 95 起動モードを切り替えます。 →ブート サスPEND / レジューム NT レジューム(サスPEND)機能を有効にするかどうかを切り替えます。 →ブート サスPEND / レジューム(メモリ)
Fn + F4 《アラーム音量の調節》	アラーム音量を切り替えます。 →オフ 小 中 大
Fn + F5 《表示装置の切り替え》	現在の順序から、次の順で表示が切り替わります。 →内部 同時 外部 画面のプロパティでも切り替えることができます。 表示装置の設定は 98 95 Toshiba Hardware Setup の [Display] タブで、 2000 NT HW セットアップの [ディスプレイ] タブで行います。

[Fn] + [Esc] 《ディスプレイ輝度調節》	98 ディスプレイの輝度を切り替えます。
[Fn] + [Shift] + キートップの左下側に印刷された文字のキー	キートップ左下に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。
[Fn] + [F10] (アロー状態) 《オーバレイ機能》	アロー状態を解除するには、もう1度 [Fn] + [F10] キーを押します。
[Fn] + キートップの右下側に印刷された文字のキー	キートップ右下に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。
[Fn] + [F11] (数字ロック状態) 《オーバレイ機能》	数字ロック状態を解除するには、もう1度 [Fn] + [F11] キーを押します。
[Fn] + [F12] (スクロールロック状態)	一部のアプリケーションで □□□□ キーを画面スクロールとして使用できます。スクロールロック状態を解除するには、もう1度 [Fn] + [F12] キーを押します。
[Fn] + [] [] [] []	キートップ右下に灰色で印刷された、 [Home] 、 [End] 、 [PgUp] 、 [PgDn] キーとして使用できます。

田 キーを使ったショートカットキー

田 キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
田 + [R]	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
田 + [M]	すべてをアイコン化する
Shift + 田 + [M]	すべてのアイコン化を元に戻す
田 + [F1]	Windows のヘルプを起動する
田 + [E]	Windows エクスプローラを起動する
田 + [F]	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl + 田 + [F]	他のコンピュータを検索する
田 + [Tab]	タスクバーのボタンを順番に切り替える
田 + [Break]	[システムのプロパティ] 画面を表示する

● 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内 容
システムの再起動	[Ctrl] + [Alt] + [Del]	  プログラムの強制終了画面が表示されます。再度同じキーを押すと、システムを再起動します。   Windows のセキュリティ画面が表示されます。
画面印字	[Fn] + [Ins]	現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。
	[Alt] + [Fn] + [Del]	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



・Windows 98 / 95 の場合、システムが操作不能になったとき以外は [Ctrl] + [Alt] + [Del] キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

● 日本語入力システム

本製品には、Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。

MS-IME のバージョンはお使いになるシステムによって異なります。

-  : MS-IME98
-   : MS-IME97
-  : MS-IME2000

● 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。

MS-IME2000 / MS-IME98



ここをクリックし、メニューから
 「ひらがな」または「全角ひらがな」
 を選択する

MS-IME97



タスクバーの  をダブルクリックし、 にする

タスクバーの  をクリックし、「日本語入力-オン」を選択する

Alt + [半 / 全] キーを押す

漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。



● 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力などに設定を変更する場合は、ツールバーのプロパティアイコン ( または ) をクリックしてください。



・ローマ字入力とかな入力の切り替えは、次のキーの組み合わせでも可能です。

98 **95** : **Ctrl** + **CapsLock** 英数

2000 **NT** : **Ctrl** + **Shift** + **カタカナ/ひらがな**

● 漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、**Space**キーを押します。

目的の漢字ではない場合は、もう一度 **Space**キーを押して、他の漢字を表示します。さらに **Space**キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

Space キーで選択し、**Enter**キーを押します。

☞ MS-IME の使い方 ⇨ 『MS-IME のオンラインヘルプ』



・ツールバーのヘルプアイコン ( または ) をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

- ☞ スピーカについて ⇨ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」
- ☞ システムスピーカについて ⇨ 「本節 2 システムスピーカについて」

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System、および Sound Blaster Pro に適合しています。

サウンドに関する設定についてはあわせて『Windows のヘルプ』をご覧ください。

ボリュームダイヤルで調整する

本体前面のボリュームダイヤルで調整します。

音量を大きくしたいときは右に、小さくしたいときは左に回します。

- ☞ ボリュームダイヤル ⇨ 「1 章 1 各部の名称」

ボリュームコントロールで調整する

- 1 タスクバー上の [スピーカ] アイコンをダブルクリックする
または次の方法で起動する



[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする



[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [マルチメディア] - [ボリュームコントロール] をクリックする

ボリュームコントロールが起動します。

- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。ミュートをチェックすると消音となります。

詳しくは、ボリュームコントロールのヘルプをご覧ください。

〔スピーカ〕アイコンから調整する

タスクバーの〔スピーカ〕アイコン()からスピーカの音量を調整することもできます。

- 1 タスクバー上の〔スピーカ〕アイコン()をクリックする次の画面が表示されます。



- 2 つまみを上下にドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



メモ

- ・〔ミュート〕をチェックすると消音となります。
- ・使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
 - ・本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
 - ・使用しているアプリケーションの設定を変える
 - ・外部マイクをスピーカから離す

2 システムスピーカについて

パソコンのハードウェアの状態を知らせるシステムスピーカがあります。システムスピーカを鳴らす／鳴らさないの設定ができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。また、あわせて、音量の調整もできます。

設定方法

〔Windows 98 / 95 の場合〕

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする

3 [Hardware Alarm] タブで設定する

鳴らす場合は [System Beep] をチェックします。

音量は [Alarm Volume] のスライダーバーで調整します。

Windows 2000 の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [HW セットアップ] をダブルクリックする

3 [サウンド] タブで設定する

鳴らす場合は [システムビープを鳴らす] をチェックします。

音量は [スピーカ音量] のスライダーバーで調整します。

Windows NT の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [省電力] をダブルクリックする

3 利用する省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする

4 [その他] タブで設定する

鳴らす場合は [システムビープを鳴らす] をチェックします。

音量は [スピーカ音量] のスライダーバーで調整します。



・システムスピーカの音量の調整は、[Fn] + [F4] キーを使用して変更することができます。

☞ 「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」

2

電源を入れて切るまで

電源を入れて、パソコンがシステムを組み込むまでを、
「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

1	電源を入れる	5 4
2	初めて電源を入れるとき	5 7
3	電源を切る	9 2
4	オンラインマニュアルの起動	10 8

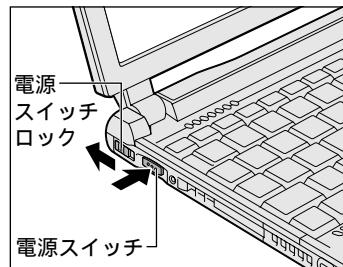
1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
フロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクが
入っていないことを確認してください。

2 ディスプレイを開く

パソコンの設定によっては、ディスプレイを開くと自動的に電源を入れること
ができます。その場合は手順3の操作は不要です。

3 電源スイッチロックを解除 ()
し、電源スイッチを押す

電源が入ると、Power  LED が緑色に
点灯します。



スタンバイ (  サスペンド) またはハイバネーション機能が設
定されている場合は、電源を切る前の状態が再現されます。
Windows NT にはハイバネーション機能はありません。



お願い

- ・システムが起動するまでアキュポイント をさわらないでください。
アキュポイント が動作しなくなる場合があります。その場合、約
1分程アキュポイント を操作しないでください。その間に正常に
動作できるように内部処理を行います。



メモ

- ・スタンバイ (**95** **NT** サスペンド) 機能 / ハイバネーション機能とは、次に電源を入れたとき、終了した時点から作業が行える機能です。
 - スタンバイ (サスペンド) 機能は電源を切る前の状態をメモリに保持し、ハイバネーション機能はハードディスクに保持します。
 - ・スタンバイ (サスペンド) 機能を設定している場合、スタンバイ (サスペンド) 中は Power  LED がゆっくりとオレンジ色に点滅します。
 - ・初めて電源を入れた場合は、[Windows セットアップの確認] の画面 (**2000** **NT** システム (OS) 選択の画面) が表示されます。表示されるメッセージに従って、ご使用のシステムのセットアップを行なってください。
- ☞ セットアップの方法について ⇨ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」

4 電源スイッチロックを有効 () にする

誤操作を防ぐために、電源スイッチをロックしておいてください。



パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押してください。



メモ

- ・スタンバイ (**95** **NT** サスペンド) またはハイバネーション機能を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
- ・パスワードの入力ミスを 3 回繰り返した場合は自動的に電源が切れます。スタンバイ (サスペンド) またはハイバネーション機能を実行している場合は、設定した状態に戻ります。



次のメッセージが表示される場合

次のようなメッセージが表示されることがあります。主なメッセージとその対処方法を示します。

(1) Bad × × × × × × × ×

この場合は、[F1] キーを押してセットアップ画面を表示させます。

[Fn]+[] キーを押して標準に設定してください。

[Fn]+[] キーを押して終了し、[Y] キーを押して再起動してください。
標準設定の状態になります。

(2) WARNING: × × × × ×

この場合は、[Enter] キーを何回か押してください。

(3) WARNING:RESUME FAILURE PRESS ANY KEY TO CONTINUE

スタンバイ (■ 95 ■ NT サスPEND) 機能によるシステム起動ができない、というメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

☞ スタンバイ機能 / サスPEND機能について
⇨ 「5 章 1 消費電力を節約する」

(4) WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE PRESS ANY KEY TO CONTINUE

ハイバネーション機能によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

☞ ハイバネーション機能について ⇨ 「5 章 1 消費電力を節約する」

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows を使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。1度 Windows のセットアップをすれば、以降は電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

本製品には、次のモデルがあります。

モデム内蔵モデル

- Windows 98 モデル

LAN 内蔵モデル

- Windows 98 モデル
- Windows 95 モデル
- Windows 2000 / NT モデル

☞ モデルの確認について ⇨ 「パソコンのモデルを確認する」

セットアップの方法については、お買い上げになったモデルの手順をご覧ください。



お願い

- ・「Windows セットアップ」は AC アダプタと電源コードを接続し、コンセントにつないで行なってください。

☞ 電源の接続方法について ⇨ 「1章 3-2 電源に接続する」

「Windows セットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。

- ・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・「Windows セットアップ」を行う前に、30 分以上キーを押さない（アキュポイント の操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。

画面に表示するには、[Shift]キーを押すか、アキュポイント やマウスを動かしてください。

- ・Windows のセットアップは、カスタム・リカバリ CD (■98 ■95) やリカバリ CD (■2000 ■NT) でシステムの復元を行なった場合にも必要です。



注意

- ・LAN 内蔵モデルにおいて購入時のネットワークの設定は既定値になっています。

Windows のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態でセットアップを行なってください。

1 Windows 98 のセットアップ

Windows 98 セットアップでは、次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分程度で終了します。

ユーザ - 情報の登録

名前、会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）
マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

日付と時刻の設定

[日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブにて、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

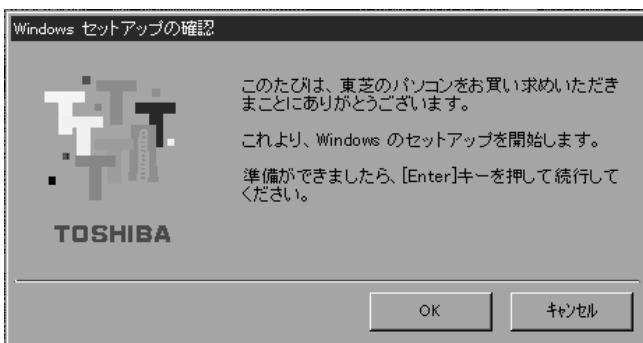


- Product Key がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

2 セットアップの操作手順

* ここでは、モデム内蔵モデルの表示画面を例に説明します。

初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。

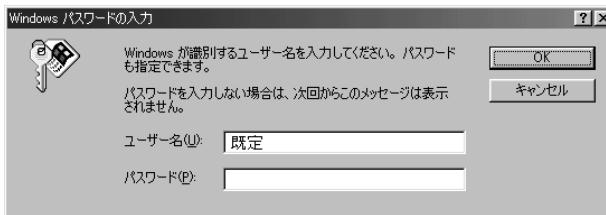


1 [Enter]キーを押す

Windowsのセットアップが開始されます。

コンピュータが再起動し、[Windows パスワードの入力]の画面が表示されます。

* LAN 内蔵モデルの場合は、[ネットワークパスワードの入力]画面になります。



2 ユーザー名を入力する

[Shift]+[Tab]キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Del]キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IMEを起動します。MS-IMEとは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[Alt]キーを押したまま、[半/全]キーを押してください。



・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A]とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace]キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter]キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字変換する場合は[Space]キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter]キーを押す

[Space]キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

[Enter]キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、[Tab] キーを押します。

パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8 文字を自由に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

使用できる文字	アルファベット（半角）	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字（半角）	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号（単独のキーで入力できる文字の一部）	- ^ @ [] ; : , . / (スペース)
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・全角文字（2バイト文字）・日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号など・単独のキーで入力できない（入力するときに[Shift]キーなどを使用する）文字 【例】 （バーチカルライン）、&（アンド）、（チルダ）など・¥（エン） [¥] キーや [1] キーを押すと¥が入力されます。	

入力したパスワードは「*****」で表示されます。パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK]ボタンをクリックする

[ようこそ]画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。



・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 **[Del]**キーで[新しいパスワードの確認入力]のパスワードをすべて削除する
- 2 **[Shift]**キーと**[Tab]**キーを同時に押す
カーソルが新しいパスワードの入力に戻ります。
- 3 **[Del]**キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 **[Tab]**キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力]に同じパスワードを入力する
- 7 [OK]ボタンをクリックする

5 [Esc]キーを押す

MS-IME のチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は [M] キーを押してください。入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[Windows 98 へようこそ] 画面が表示されます。



6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力したあと、[Tab] キーを押します。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。[Alt] キーを押したまま、[半/全] キーを押してください。

* LAN 内蔵モデルの場合は、手順 10 に進んでください。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[モデムを使って接続する] 画面が表示されます。

ここではインターネット（モデム）への接続は行いません。

インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ終了後に行えます。



8 [スキップ] ボタンをクリックする [ダイヤルのキャンセル] 画面が表示されます。



9 画面の [はい] をチェック (左側の印をクリック) する 10 [次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] の画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、**[PgUp]** キー、**[PgDn]** キーを使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



- 11 画面の [同意する] をチェック (左側の印をクリック) し、[次へ] ボタンをクリックする
[セットアップの完了] 画面が表示されます。



- 12 [完了] ボタンをクリックする
[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。



- 13 [日付] と [時刻] が正しく設定されているか確認する
正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。
- 14 [タイムゾーン] で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する
「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合はボタンをクリックし、一覧から選択してください。

15 [閉じる] ボタンをクリックする

[日付] [時刻] [タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。Windows のセットアップが終了し、Windows のデスクトップ画面が表示されます。



- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
- ☞ ユーザ登録 ⇨ 「本節 5 ユーザ登録をする」

2 Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

Windows 95 のセットアップでは、次のことを行います。

セットアップは 15 ~ 30 分程で終了します。

ユーザ - 情報の登録

名前、会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書への同意

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

Certificate of Authenticity Product ID 入力

パソコン本体に貼られているラベルに印刷されている Product ID を入力します。ラベルはパソコン本体の裏側に貼られているので、セットアップを開始する前に紙などに書き写しておいてください。

日付と時刻の設定

[日付と時刻のプロパティ] 画面でパソコンの日付と時刻を設定します。

セットアップ後に変更することが可能です。

プリントウィザード

使用するプリントタを選択します。セットアップ後に設定することができるので、ここでは設定しません。



お願い

- Product ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。



メモ

- お使いの LAN 環境がネットワーク設定と合っていない場合、セットアップ中に次の画面が表示されることがあります。

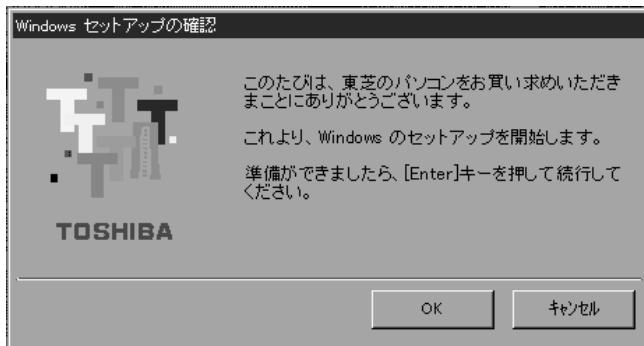


この場合は、[はい] をクリックして Windows 95 のセットアップを完了させた後、ネットワーク管理者にご相談のうえ、ネットワーク設定を正しく行なってください。



セットアップの操作手順

初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter]キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

コンピュータが再起動し、[ユーザー情報] の画面が表示されます。



2 名前と会社名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。会社名を入力するには、名前を入力した後、[Tab] キーを押します。



・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 [N] [A] [K] [A] [T] [A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字変換する場合は [Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

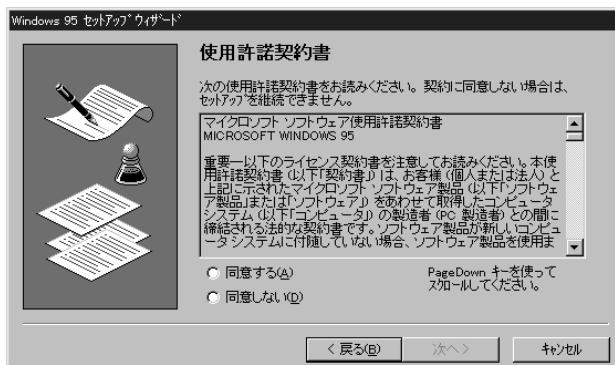
[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 [次へ] ボタンをクリックする

[使用許諾契約書] の画面が表示されます。マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、[PgUp] キー、[PgDn] キーを使って画面をスクロールしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



4 画面下部の[同意する(A)]をチェック(左側の印をクリック)して[次へ]ボタンをクリックする



- [同意しない(D)]を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[Certificate of Authenticity]の画面が表示されます。



5 Product IDを入力する

Product IDは、パソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。セットアップ画面では『ファーストステップガイド Microsoft Windows 95』表紙となっていますが、実際にはパソコン本体の裏側にラベルが貼られています。

【例】

XXXXX - OEM - XXXXXXXX - XXXXX

入力を間違えた場合は、[BackSpace]キーで文字を削除し、再入力してください。



お願い

- Product IDは、1度入力して確定すると変更することはできませんので、正確に入力してください。
- Product IDはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。紛失するとWindowsのセットアップはできなくなります。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

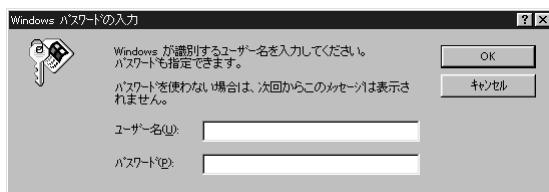
6 [次へ] ボタンをクリックする

[ウィザードの開始] の画面が表示されます。



7 [完了] ボタンをクリックする

[Windows パスワードの入力] 画面が表示されます。



8 [キャンセル] ボタンをクリックする

LAN ドライバがインストールされた後、[日付と時刻のプロパティ] の画面が表示されます。



9 [タイムゾーン] タブで「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル、ヤクーツク」が選択されていない場合は ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

10 [日付と時刻] タブをクリックし、日付および時刻を設定する
設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

11 [閉じる] ボタンをクリックする

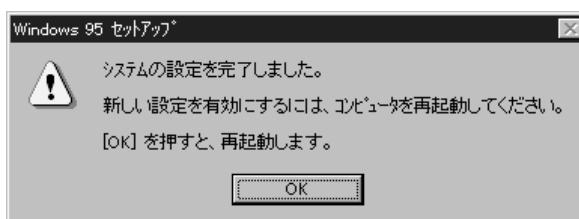
日付や時刻を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。
[Microsoft Exchange] の環境設定が行われます。
終了すると、[プリンターウィザード] の画面が表示されます。



12 [キャンセル] ボタンをクリックする

プリンタの設定はセットアップ終了後に、Windows 上で行うことができるの
で、ここではプリンタの設定は行いません。

Windows 95 セットアップのシステム設定完了の画面が表示されます。



13 [OK] ボタンをクリックする

Windows のシステムが起動されます。以上で操作は終了です。

Windows のセットアップが完了し、パソコンが再起動します。

再起動後は、Windows が起動します。



・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ⇨ 「本節 5 ユーザ登録をする」

Windows の使い方

Windows の使い方については、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 95』をご覧ください。

3

Windows 2000 のセットアップ

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。セットアップの方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

セットアップでは、次のことを行います。

マイクロソフトウェア使用許諾契約書 (Windows のライセンス) への同意
マイクロソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを、選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

ユ - ザ情報の登録

名前、会社名（省略可能）を登録します。

コンピュータ名の指定

日付と時刻の設定

ネットワークの設定



- ・プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

4

セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

1 [Windows 2000] を選択し、[Enter] キーを押す

[] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

[Enter] キーを押すと、確認画面が表示されます。

2 [Windows 2000] と表示してあることを確認し、[F8] キーを押す



- ・Windows NT に変更したい場合は、[F8] 以外のキーを押してください。1 つ前の画面に戻ります。その後、Windows NT のセットアップの手順に従ってください。

☞ Windows NT のセットアップについて

⇒ 「本節 4 Windows NT のセットアップ」

3 セットアップ終了のメッセージが表示されたら [Enter] キーを押す

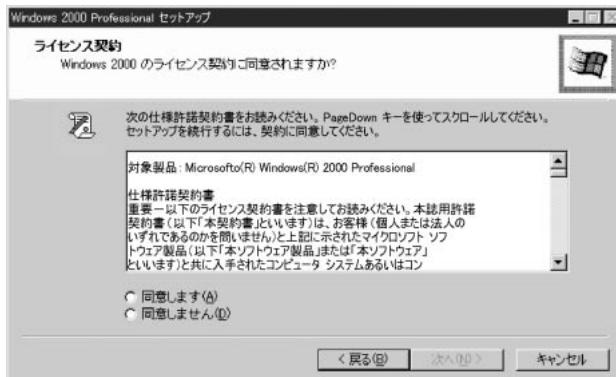
コンピュータが再起動し、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。



4 [次へ (N)] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] の画面が表示されます。契約内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、**PgUp** キー、**[PgDn]** キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



5 画面下部の [同意します(A)] をチェックして [次へ] ボタンをクリックする

[ソフトウェアの個人用設定] の画面が表示されます。



6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **Tab** キーを押します。



・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 **N** **A** **K** **A** **T** **A** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

BackSpace キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、**Enter** キーを押す

“なかた”で確定されます。

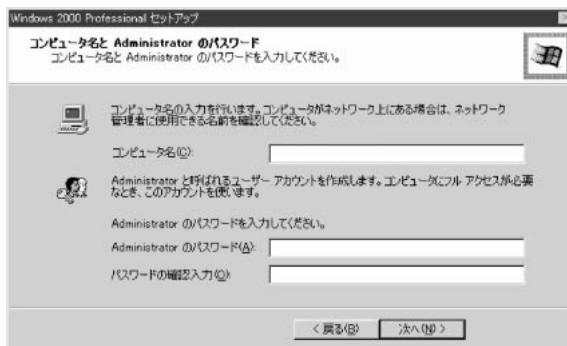
漢字変換する場合は **Space** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**Enter** キーを押す

Space キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

Enter キーを押すと、選択した漢字で確定します。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] の画面が表示されます。



8 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。



- ・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

9 [次へ] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



10 日付と時刻の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00)大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。

ボタンをクリックして適切な時刻／タイムゾーンを設定してください。

11 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



12 ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。

標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



・標準設定 : Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワーク のファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/ IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。

カスタム設定 : 手動でネットワークコンポーネントを構成することができます。



・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

13 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。

14 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。

ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。

選択後、エディットボックスにワークグループ（ドメイン）名を入力してください。



お願い

- お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ（ドメイン）名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

15 [次へ] ボタンをクリックする

設定の保存後、[Windows 2000 セットアップウィザード完了] 画面が表示されます。



16 [完了] ボタンをクリックする

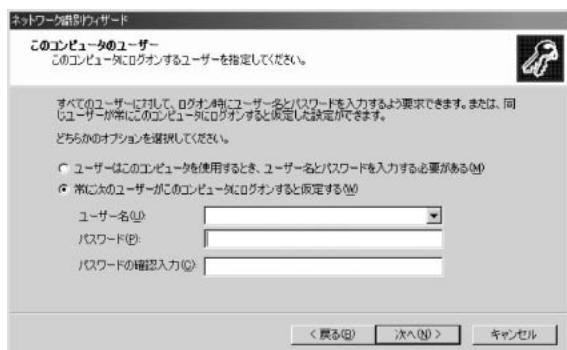
再起動します。再起動後に [ネットワーク識別ウィザードの開始] 画面が表示されます。

ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



17 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



18 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」

..... 指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。

「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」

..... 指定したユーザで自動的にログオンします。

ここで指定できるユーザは手順 6 で入力した名前、あるいは Administrator です。

ボタンをクリックして選択してください。

19 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。



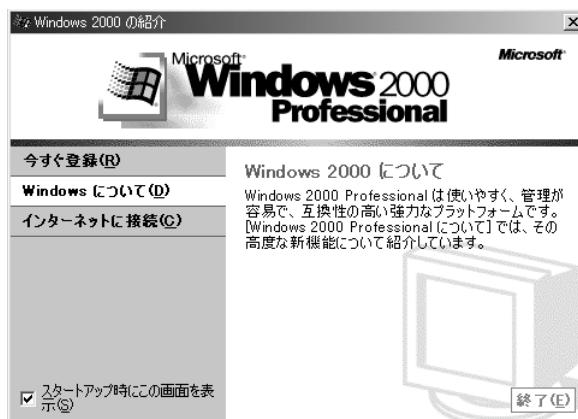
20 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 18 で前者を選択した場合は、[Windows ヘログオン] 画面が表示されますので、Administrator のパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。Administrator でログオンします。

後者を選択した場合は、手順 18 で指定したユーザで自動的にログオンします。

ログオン後、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。





- ・[Windows 2000 の紹介] の下部にあるチェックボックス（スタートアップ時にこの画面を表示）をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows が起動したときはこの画面は表示されません。ダイアログボックスを再表示する方法
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックする
- ・Windows 2000 を選択された場合は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
C ドライブ：約 4GB、NTFS システム
ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、「ディスクの管理」を使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。
「ディスクの管理」の詳細は、『Windows のヘルプ』をご覧ください。
- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ⇨ 「本節 5 ユーザ登録をする」

Windows の使い方

Windows の使い方については、[スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

Windows 2000 / NT モデルでは、Windows 2000 または Windows NT のいずれかを選択することができます。セットアップの方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。また、どちらかのインストールを開始すると、選択されなかったシステムは削除されますので、ご使用になれません。

セットアップでは次のことを行います。

ユーザ - 情報の登録

名前、会社名（省略可能）を登録します。

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意

マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。

コンピュータ名の登録

ネットワーク上でパソコンを個別に認識するために、コンピュータ名の登録を行います。コンピュータ名の付け方は、ネットワーク管理者にお問合せください。

☞ 「本項 Administrator パスワードの設定 / 変更」

セットアップ終了後に、[コントロールパネル] - [日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで、パソコンの日付と時刻の設定を行なってください。



お願い

- ・プロダクト ID はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。



セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、システムの選択画面が表示されます。

1 [Windows NT]を選択し、[Enter]キーを押す

□□キーで選択し、[Enter]キーで確定します。

[Enter]キーを押すと、確認画面が表示されます。

2 [Windows NT]と表示してあることを確認し、[F8]キーを押す



Windows 2000に変更したい場合は、[F8]以外のキーを押してください。

1つ前の画面に戻ります。その後、Windows 2000のセットアップの手順に従ってください。

☞ Windows 2000のセットアップについて

⇒「本節 3 Windows 2000のセットアップ」

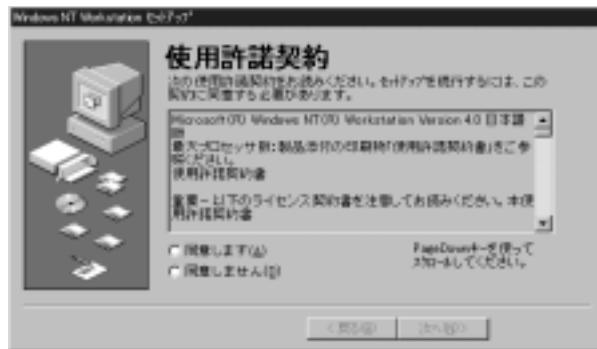
3 セットアップ終了のメッセージが表示されたら[Enter]キーを押す

コンピュータが再起動し、[Windows NT セットアップ]画面が表示されます。



4 [次へ (N)] ボタンをクリックする

[使用許諾契約] 画面が表示されます。



マイクロソフトソフトウェア使用許諾契約書の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、 ボタンをクリックするか

PgUp キー、 PgDn キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

5 画面下部の [同意します(A)] をチェック (左側の 印をクリックして [次へ (N)] ボタンをクリックする



・[同意しません (D)] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[名前と組織名] 画面が表示されます。



6 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 [Tab] キーを押します。



- 日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

- 1 **N A K A T A** とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

- 2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字変換する場合は [Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

7 [次へ (N)] ボタンをクリックする

[コンピュータ名] 画面が表示されます。



8 コンピュータ名を入力する

コンピュータ名の付け方に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

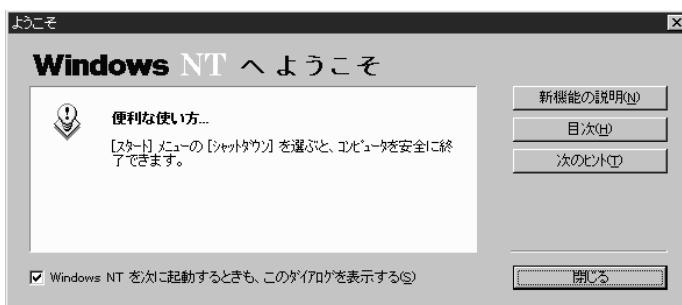


- コンピュータ名を変更する場合は、セットアップ終了後に Administrators グループのユーザーアカウントでログオンし、[コントロールパネル] の [ネットワーク] を起動して変更してください。

9 [次へ (N)] ボタンをクリックする [セットアップは終了しました] 画面が表示されます。



10 [完了] ボタンをクリックする Windows NT のセットアップが完了しました。 コンピュータが自動的に再起動し、[ようこそ] 画面が表示されます。



この画面の [新機能の説明(N)] [次のヒント(T)] などのボタンをクリックすることにより Windows NT の概要を知ることができます。
Windows NT をはじめてご使用になる場合は、必ずお読みください。



・[コントロールパネル] の [日付と時刻] アイコンをダブルクリックし、
[日付と時刻] タブで現在の日付と時刻の設定を確認してください。



メモ

- ・[ようこそ] の下部にあるチェックボックス (Windows NT を次に起動するときも、このダイアログを表示する) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows NT が起動したときは [ようこそ] は表示されません。

ただし、初期セットアップ完了後の最初のログオン時には、このチェックボックスは表示されません。

☞ [ようこそ] ダイアログボックスを再表示する方法

⇨ 『 Windows NT のヘルプ 』

- ・Windows NT を選択された場合は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

C ドライブ : 約 4GB、NTFS システム

ハードディスクの残りの領域をお使いになる場合は、「ディスクアドミニストレータ」を使用して、パーティションの作成やフォーマットを行なってください。

「ディスクアドミニストレータ」の詳細は、『 Windows のヘルプ 』をご覧ください。

- ・東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。

☞ ユーザ登録 ⇨ 「 本節 5 ユーザ登録をする 」

● Windows の使い方

Windows の使い方については、[スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『 Windows のヘルプ 』をご覧ください。



Administrator パスワードの設定 / 変更

セットアップ直後の初期状態では、Administratorのパスワードは設定されていません。次の手順に従って、パスワードを設定してください。

セットアップ作業から継続している方は、手順 1 と 4 は必要ありません。



お願ひ

- ・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

1 Administratorでログオンする

2 **[Ctrl]+[Alt]+[Del]**キーを押す

[Windows NT のセキュリティ] 画面が表示されます。



3 [パスワードの変更 (C)] ボタンをクリックする

[パスワードの変更] 画面が表示されます。



4 [古いパスワード (O)] ボックスに、現在使用しているパスワードを入力する

初期設定ではパスワードが設定されていないので、空欄のままにしておいてください。

入力したパスワードは*（アスタリスク）で表示されます。

- 5** [新しいパスワード (N)] ボックスに、新しく設定するパスワードを入力する

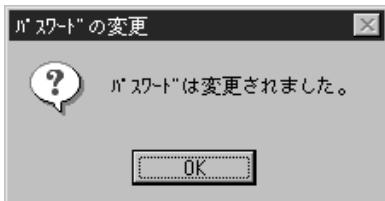
入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。

- 6** [新しいパスワードの入力確認 (C)] ボックスに、同じパスワードを入力する

入力したパスワードは* (アスタリスク) で表示されます。

- 7** [OK] ボタンをクリックする

パスワードが正しく設定されると、次の画面が表示されます。



- 8** [OK] ボタンをクリックする

[Windows NT のセキュリティ] 画面に戻ります。

新しいパスワードは、次回のログオンから有効になります。

- 9** [キャンセル] ボタンをクリックする

5 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。

モデム内蔵モデルの場合、インターネットで登録する場合は、モジュラーケーブルの接続が必要です。

☞ モジュラーケーブルの接続 ⇨ 「4 章 5 モデムを電話回線へ接続する」
LAN 内蔵モデルの場合、インターネットで登録するときはネットワーク管理者にご相談ください。または、モデムが必要です。

東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

インターネットで登録する

Windows 98 / 95 の場合、インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

[スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックする

[インターネットプロバイダと未契約の方] を選択した場合、インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。
LAN 内蔵モデルの場合は、モデムが必要です。

[インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネット接続されている方] を選択した場合は、インターネットに接続してユーザ登録できます。

[インターネット経由での登録を希望しない方] を選択した場合は、はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

すでに他のプロバイダに入会している場合

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

<http://www5.toshiba.co.jp/tPMC/nkhh.htm>

Microsoft 社へのユーザ登録

Windows 2000 / NT モデルの場合、同梱されている登録はがきで登録できます。

Windows 98 / 95 / 2000をお使いの場合、インターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、あらかじめプロバイダとの契約が必要です。

LAN 内蔵モデルの場合は、モデムが必要です。

インターネットで登録する

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次のように登録します。

Windows 98 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [Windows へようこそ] で [今すぐ登録] をクリックする

Windows 95 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [オンライン登録] をクリックする

Windows 2000 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] で [今すぐ登録] をクリックする

3 電源を切る

パソコン本体を使い終わって電源を切るには、次の方法があります。
電源を切るときに、次の機能が実行できます。

- ・シャットダウン機能
- ・スタンバイ機能 (**98 2000**)
- ・サスPEND機能 (**95 NT**)
- ・ハイバネーション機能 (**98 95 2000**)

これらの機能を実行して電源を切るには、いくつか方法があります。

● シャットダウン機能

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切れます。

● スタンバイ / サスPEND機能

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。

次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。

ハイバネーション機能に比べて、状態の再現がすばやく行われます。

しかし、ハイバネーション機能実行時よりもバッテリを消耗しますので、AC アダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。



- ・スタンバイ / サスPEND機能を実行中にバッテリを使い切ったとき、またはバッテリパックを取りはずしたときは、スタンバイ / サスPEND機能が無効になります。また、データが消失するおそれがあります。

● ハイバネーション機能

電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。

スタンバイ / サスPEND機能と同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。

ハイバネーション機能を実行するには、あらかじめ設定が必要です。ご購入時は有効に設定されています。

* Windows NT にはハイバネーション機能はありません。

☞ シャットダウン、スタンバイ / サスPEND、ハイバネーション機能
⇒ 「5 章 1 消費電力を節約する」



注意

- ・Disk LED、またはフロッピーディスクドライブのLEDが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、ハードディスク装置やフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。
- ・パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。十分に放電するまでしばらく待ってください。



- ・必ず手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因となることがあります。
- ・周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- ・ハイバネーション機能が実行されている間は、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk LEDが点灯し続けます。LEDが点灯中は、バッテリパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
- ・スタンバイ(95 NT サスPEND)またはハイバネーション機能を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

1 Windows 98 の場合

方法 1 - シャットダウン機能

[スタート]メニューからWindowsを終了します。

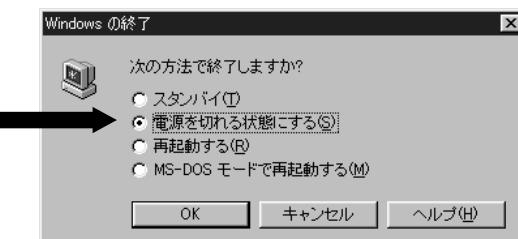
1 データを保存し、アプリケーションを終了する

2 [スタート] - [Windowsの終了(U)] を選択する



(表示例)

3 [電源を切れる状態にする(S)] がチェックされていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする



・この方法で電源を切るとスタンバイ機能やハイバネーション機能は実行されません。



方法 2 - スタンバイ機能

[スタート]メニューからスタンバイ機能を実行します。

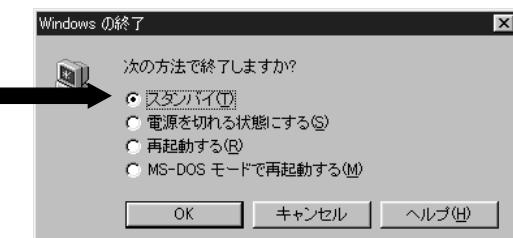
1 [スタート] - [Windows の終了(U)] を選択する



(表示例)

2 [スタンバイ(T)] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。



- ・スタンバイ機能を実行すると、ハイバネーション機能実行時よりバッテリの保持時間は非常に短くなります。バッテリで使用する場合は、ハイバネーション機能を使用することをおすすめします。



方法 3 - ハイバネーション機能

[スタート]メニューからハイバネーション機能を実行します。

あらかじめ [コントロールパネル] - [電源の管理] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、ハイバネーション機能を有効にしておきます。

1 [スタート] - [ハイバネーション] を選択する

ハイバネーション機能を実行して終了します。

[スタート]メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)



方法 4 - 電源スイッチを押す

シャットダウン / スタンバイ / ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [電源ボタンを押したとき] で、表示されるメニューから実行したい処理（機能）を選択します。

☞ 省電力モードについて ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」



メモ

- ・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル] - [電源の管理] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 電源スイッチを押す



方法 5 - ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

シャットダウン / スタンバイ / ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブ - [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理（機能）を選択します。

☞ 省電力モードについて ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」

スタンバイまたはハイバネーション機能に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



メモ

- ・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル] - [電源の管理] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

方法 6 - **[Fn] + [F3]** キーを使う

シャットダウン / スタンバイ / ハイバネーション機能を実行できます。
ハイバネーション機能を実行するには、設定が必要です。

1 **[Fn]** キーを押しながら、**[F3]** キーを押す

画面が表示されます。

2 **[Fn]** キーを押したまま、**[F3]** キーを押し、実行したい処理 (機能) を選択する

[F3] キーを押すたびに、処理 (機能) が切り替わります (反転表示)。
[F3] キーを離すと選択した処理 (機能) を実行します。



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル] - [電源の管理] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

こんなときは

誤ってハイバネーション機能を実行してしまった場合、**[BackSpace]** キーでキャンセルすることができます。

ハイバネーション機能を実行すると、1 度画面が暗くなつてから次の画面が表示されます。



画面が表示される前に **[BackSpace]** キーを押すと、1 度画面が暗くなつてから、元の画面に戻ります。

画面が表示中に **[BackSpace]** キーを押すと、ハイバネーション機能は中断され、元の画面に戻ります。

2 Windows 95 の場合

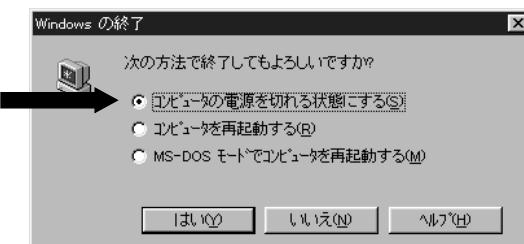
方法 1 - シャットダウン機能

[スタート] メニューから Windows を終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを保存する
- 2 [スタート] - [Windows の終了 (U)] を選択する



- 3 [コンピュータの電源を切れる状態にする (S)] がチェックされていることを確認し、[はい (Y)] ボタンをクリックする



- この方法で電源を切るとサスペンド機能やハイバネーション機能は実行されません。



方法 2 - サスペンドまたはハイバネーション機能

[スタート]メニューからサスペンドまたはハイバネーション機能を実行します。

- 1 [スタート] - [サスペンド (N)] を選択する
サスペンドまたはハイバネーション機能を実行して終了します。



・サスペンド機能とハイバネーション機能のどちらが実行されるかは省電力ユーティリティ ([コントロールパネル] - [省電力] - [詳細設定] ボタン - [システム] タブ) の設定によります。



方法 3 - 電源スイッチを押す

シャットダウン / サスペンド / ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

- 1 電源スイッチを押したときに実行したい処理 (機能) を選択する
[コントロールパネル] - [省電力] - [省電力モード] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリック - [システム] タブで、実行したい処理 (機能) を選択します。
 - ・シャットダウン機能を実行する
..... [ブート] を選択する
東芝サービスの設定によりシャットダウンプロセスを実行して Windows を終了します。
 - ・サスペンド機能を実行する
..... [サスペンド / レジューム] を選択して、[ハイバネーションを有効にする] のチェックをはずす
 - ・ハイバネーション機能を実行する
..... [サスペンド / レジューム] を選択して、[ハイバネーションを有効にする] をチェックする

☞ 省電力モードについて ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」

- 2 電源スイッチを押す

方法4 - ディスプレイを閉じる(パネルスイッチ機能)

サスPEND/ハイバネーション機能を実行できます。
あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理(機能)を選択する

[コントロールパネル]-[省電力]-[省電力モード]タブ-利用する省電力モードを選択し、[詳細設定]ボタンをクリック-[システム]タブで[サスPEND/レジューム]を選択し、[パネルを閉じたときサスPEND、開いたときレジュームする]をチェックします。

- ・サスPEND機能を実行する
.....[ハイバネーションを有効にする]のチェックをはずす
 - ・ハイバネーション機能を実行する
.....[ハイバネーションを有効にする]をチェックする
- ☞ 省電力モードについて ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」



・[システム]タブで[ブート]を選択した場合は、パネルスイッチ機能は働きません。

2 ディスプレイを閉じる

サスPENDまたはハイバネーション機能が実行されます。

ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、電源を切る直前の状態が再現されます。

こんなときは

誤ってハイバネーション機能を実行してしまった場合、[BackSpace]キーでキャンセルすることができます。

ハイバネーション機能を実行すると、1度画面が暗くなつてから次の画面が表示されます。



画面が表示される前に[BackSpace]キーを押すと、1度画面が暗くなつてから、元の画面に戻ります。

画面が表示中に[BackSpace]キーを押すと、ハイバネーション機能は中断され、元の画面に戻ります。

3 Windows 2000 の場合

方法 1 - シャットダウン機能

[スタート]メニューからWindowsを終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを保存する
- 2 [スタート] - [シャットダウン(U)]をクリックする
- 3 [Windowsのシャットダウン]画面で、ドロップリストから[シャットダウン]を選択し、[OK]ボタンをクリックする



・この方法で電源を切るとスタンバイ機能やハイバネーション機能は実行されません。

方法2 - スタンバイ機能

[スタート]メニューからスタンバイ機能を実行します。

- 1 [スタート]-[シャットダウン(U)]をクリックする
- 2 [Windowsのシャットダウン]画面で、ドロップリストから[スタンバイ]を選択し、[OK]ボタンをクリックする



- ・スタンバイ機能を実行すると、ハイバネーション機能実行時よりバッテリの保持時間は非常に短くなります。バッテリで使用する場合は、ハイバネーション機能を使用することをおすすめします。

方法 3 - ハイバネーション機能

[スタート]メニューからハイバネーション機能を実行します。

あらかじめ [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして、ハイバネーション機能を有効にしておきます。

- 1 [スタート] - [シャットダウン (U)] をクリックする
- 2 [Windows のシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [休止状態] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



ハイバネーション機能を実行して終了します。

方法 4 - 電源スイッチを押す

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。

あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

- 1 電源スイッチを押したときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブで、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

* [電源オフ] がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態] タブの [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

- 2 電源スイッチを押す

方法 5 - ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

シャットダウン機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能を実行できます。

あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理（機能）を選択する

[コントロールパネル] - [省電力] - [電源設定] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリック - [動作] タブで、表示されるメニューから実行したい処理*（機能）を選択します。

* [電源オフ] がシャットダウン機能です。

☞ 省電力モードについて ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」

スタンバイ機能またはハイバネーション機能に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



・ハイバネーション機能を使用するには、[コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

方法 1 - シャットダウン機能

[スタート]メニューからWindowsを終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] - [シャットダウン(U)] を選択する



- 3 [コンピュータをシャットダウンする(S)] がチェックされているか確認して [はい(Y)] ボタンをクリックする



・この方法で電源を切ると、サスペンド機能は実行されません。

方法2 - サスペンド機能

[スタート]メニューからサスペンド機能を実行します。

1 [スタート] - [サスペンド] を選択する

サスペンド機能を実行して終了します。

[スタート]メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



(表示例)



・サスペンド機能には、一部制限があります。

☞ サスペンド機能 ⇨ 5章 1-3 省電力ユーティリティ
《リリース情報》

方法3 - ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

サスペンド機能を実行できます。

あらかじめ、省電力ユーティリティでの設定が必要です。

1 パネルスイッチ機能を有効に設定する

[コントロールパネル] - [省電力] - [省電力モード] タブ - 利用する省電力モードを選択し、[詳細設定] ボタンをクリック - [システム] タブで [サスペンド / レジューム] を選択し、[パネルを閉じた時サスペンド、開いた時レジュームする] をチェックします。

2 ディスプレイを閉じる

サスペンド機能が実行されます。

ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、電源を切る前の状態が再現されます。

本製品には、取扱説明書の他に、オンラインマニュアルがプレインストールされています。パソコン本体やフロッピーディスクの使い方、メモリやディスク装置の説明などは、オンラインマニュアルを参照してください。オンラインマニュアルの起動方法は次のとおりです。

1 パソコン本体の電源を入れる

☞「本章 1 電源を入れる」

Windows 画面が表示されます。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[オンラインマニュアル] をクリックする

オンラインマニュアルが起動します。

表示の内容はあらかじめインストールされているソフトやお客様の設定により異なります。



- ・デスクトップ上にある [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックしても、オンラインマニュアルを起動することができます。

画面は Windows 98 の表示例です。





オンラインマニュアルの内容

オンラインマニュアルを起動すると、次のような目次が表示されますので、その内容を簡単に説明します。

はじめに オンラインマニュアル中の表示記号、ユーザ登録などについて

オンラインマニュアルの使い方 オンラインマニュアルの使い方について

ソフトウェア 本製品に用意されている各アプリケーションについて

こんなことがしたい 本製品をいろいろなことに活用する方法について

困ったときは 操作に行き詰ったときに、トラブルを解消する方法について

用語集 知っておいた方がよいパソコン関係の用語について

付録 モデム機能、製品の仕様について



検索する

オンラインマニュアルの記述内容は、[検索]タブで検索できます。

[検索]タブ 探したい語句を入力し、その語句が含まれる
ページをすべて検索します。

